

▶▶北海道遠別町

ふるさと納税で魅力ある
農業学校づくり

遠別農業高校は、町にとって農業の未来を担う大切な高校ですが、近年、入学者が減少しています。この状況を打開するため、魅力的な学校づくりの一環として、田んぼや畑の状態観測などの農業分野にドローンを活用するため、調査研究を新たに行うこととし、ふるさと納税により費用を募りました。募集にあたっては、寄附者の共感を呼べるよう、存続の危機に直面した高校が最先端の研究で復活するというストーリーを動画も活用して分かりやすく示しました。

ふるさと納税により整備された
タブレット端末

圃場でのドローン実習

取組の進捗状況については、ウェブサイト等に掲載するほか、札幌市内のアンテナショップでも情報発信しています。また、寄附者に対しては、事業報告を行うとともに、高校の生徒からのお礼のメッセージを届けました。

注力した点や
工夫した点

町役場だけでなく、教育関係者、事業者、生産者が連携して取り組めるよう頻繁に情報交換を行い、危機感を共有しました。

Check

取組の効果

ふるさと納税で得られた資金により、ドローン実習の実施やタブレット端末を購入することが可能となり、魅力ある学校づくりを推進することができました。

また、ふるさと納税を募集することによる町外への情報発信に加え、札幌市内に「遠別農業高校アンテナショップ」を開設し、高校及び町の取組みをPRしており、地元のメディアでも大きく取り上げられました。

その結果、高校への入学者が、毎

年着実に増加し、平成29年度には、ふるさと納税をきっかけに県外出身者が入学しました。町内で農業に従事する卒業生もおり、町の産業活性化にもつながっています。

授業のなかで羊を飼育し、
食品加工や農業生産に取り組む

アンテナショップの情報発信コーナー

寄附者の声



・ドローンを有効活用できれば、農業の可能性も広がると思います。

住民の声



・ふるさと納税のおかげで高校だけでなく地域が活性化しました。ありがとうございます。